

令和7年度 活動報告書

2025年4月～2026年3月



社会福祉法人せんねん村



たぶんか
多文化ル-ム **KIBOU**

— 目次 —

多文化ルーム KIBOU とは	2
多文化ルーム KIBOU 2025 年度実施クラス	3~4
スタッフ紹介	5
通室生徒の概要 その 1 ルーツのある国	6
通室生徒の概要 その 2 クラスと人数	7
通室生徒の概要 その 3 利用者の変遷	8
活動報告	
【不就学クラス】	9
【不就園 5 歳児クラス】	10
【小学生 日本語クラス】	11
【中学生 日本語クラス】	12
【小中学生 一色クラス/吉良クラス】	13
【過年齢 (16~およそ 18 歳) クラス/ 日常生活につまずきのある若者クラス : のぞみクラス】	14
【在園児プレスクール/おやこプレスクール】	15
【多言語サポート/母語・継承語クラス】	16~18
写真で見る一年	19~22
次年度へ向けて	23

【多文化ルーム KIBOU とは】

西尾市の委託事業、外国にルーツをもつ子どもに対する就学支援事業内で設置した教室です。西尾市在住の外国にルーツをもつ子ども（5～18歳）のうち、不就学、不就園状態にある子どもに対して平等な学習の機会をもてるように、就学・登校・学習支援をすることを目的として活動しています。

《開室日時》

火曜日～金曜日 午前9時半～12時、13時～19時半

土曜日 午前9時～12時、13時～17時半

日曜日 午前9時～12時、13時～16時

※月、祝日、お盆、年末年始は休み。

《連絡先》

電話 (0563) 77-7457

FAX (0563) 77-0046

携帯(ソフトバンク) 070-1295-4734

E-mail tabunka.room.kibou.2014@gmail.com

ウェブサイト・ブログ <https://tabunkakibou.com>



ブログのQRコード

《住所》 445-0837 西尾市鶴ヶ崎町6-2 アクティにしお3階



【多文化ルーム KIBOU 2025 年度 実施クラス】

“不就学クラス”

小学校や中学校に籍をおいていない子どもの家庭を戸別訪問し、保護者と話し合いをしながら、就学をサポートします。また、在留許可がない期間の学齢期の子どもを受け入れます。不登校児童生徒の登校、学習サポートの依頼がある場合は対応します。

“不就園 5 歳児クラス”

どの保育所にも籍のない 5 歳児（次年度就学年齢になる子ども）の家庭を戸別訪問し、保護者と話し合いをしながら、就園をサポートします。就園させない意向の家庭や、就学まで間もない子どもには、多文化ルーム KIBOU 内でプレスクールを実施します。

“小学生 日本語クラス/ 小学生 一色クラス”

教科学習へとつながる学習言語を習得するために、リライト教材やまとまりのある短い文章を読む練習をしながら、ポイントとなる語彙や表現をとらえる練習をします。また、見つけたことを作文し、発表するという流れの中で「聞く・話す・読む・書く」の 4 技能を強化します。

“中学生 日本語クラス”

在籍級での一斉授業と教科学習に参加できるようになることを目標としています。学校での学習項目が多く、より抽象的になり、テストも頻繁に実施されるためです。また、受検という大きな節目を経験する年代ですので、受検にむけての意識づけをしています。

“過年齢（16～18 歳の日本語学習者）クラス”

定時制高校通学生徒、高校浪人生、中卒年齢を過ぎてからの呼び寄せで渡日した若い日本語学習者を応援します。おもに、就学・進学・進級のための日本語学習をしています。

プロジェクト 2 年目！ “日常生活につまずきのある若者クラス：のぞみクラス”

進学や就労先がなく、生活につまずきのある若者のためのクラスです。約束や時間を守りながら自立的な一日を過ごせるようになることを目的としています。

“母語・継承語クラス”

土曜日の午前中、ブラジル・ポルトガル語、中国語、ベトナム語、南米スペイン語圏にルーツをもつ子どものための母語・継承語クラスを開催しています。講師は、外部講師やスタッフなど、各言語の母語話者です。近年、乳幼児期に渡日、あるいは日本生まれであるために、保護者の母国を知らずに育つ子どもが増えています。自らのルーツや存在に肯定的な姿勢を持つことは、人間形成に必要なことです。また、子どもの権利の観点からも、自らのルーツを知る環境を提供することに意味があると考え設置しています。

“週末開催 おやこプレスクール”

西尾市内の不就園年長児、幼稚園・保育園・子ども園に子どもを通わせる外国につながる家庭のうち、希望者が参加します。

“在園児対象 プレスクール”

西尾市内の保育所に通う、外国につながる年長児のうち、渡日歴が浅い、あるいは日本語環境が身近にないために日本語習得が進んでいない児童を対象として、指導員が巡回訪問をして日本語指導を行います。母語での寄り添いが必要な場合には、母語での対応もします。

“その他 多言語サポート”

ポルトガル語、中国語、ベトナム語、スペイン語、インドネシア語、フィリピン語の文書翻訳や対面通訳で、子どもとその保護者をサポートします。主に、子どもの生活や学校にかかわる事柄や、行事に関するおたよりの翻訳、面談などにでかけます。

“おとなのにほんご クラス”

世界的な情勢不安や経済危機などの影響を受け、保護者の声から立ち上げたクラスです。より安定した環境で子育てをしてほしいという思いから、引き続きクラスを開講しています。

スタッフ紹介

かわかみ きみえ
川上貴美恵

責任者
西尾市出身♪
フラジルで
暮らした経験が
あります！



しろま
城間かおり

指導員
フラジル
出身です！
フレスクールを
担当しました♪



こがうみえ
古賀海慧

指導員



中国出身です！
小学生クラスを
担当しました♪

ゴージェイトウフォン

指導員

ベトナム
出身です♪
不就学クラス
担当です！



カスティーヤ アンドレア 指導員

ペルー出身です！
中学生クラスと
スペイン語を
担当しました♪



えもとゆうみ
江本有美

指導員

西尾市出身♪
かねんクラス、
一色、吉良クラスを
担当しました！



おおはしあゆみ
大橋歩美

指導員

特定ニース
ゆっくりさん
担当です！



アナタシアメグミ

インドネシア
出身です！
1年目です♪



いとう
伊藤ゆかり

事務の面から
みんなを
サポートします！



前山 マリウイク ビナリア

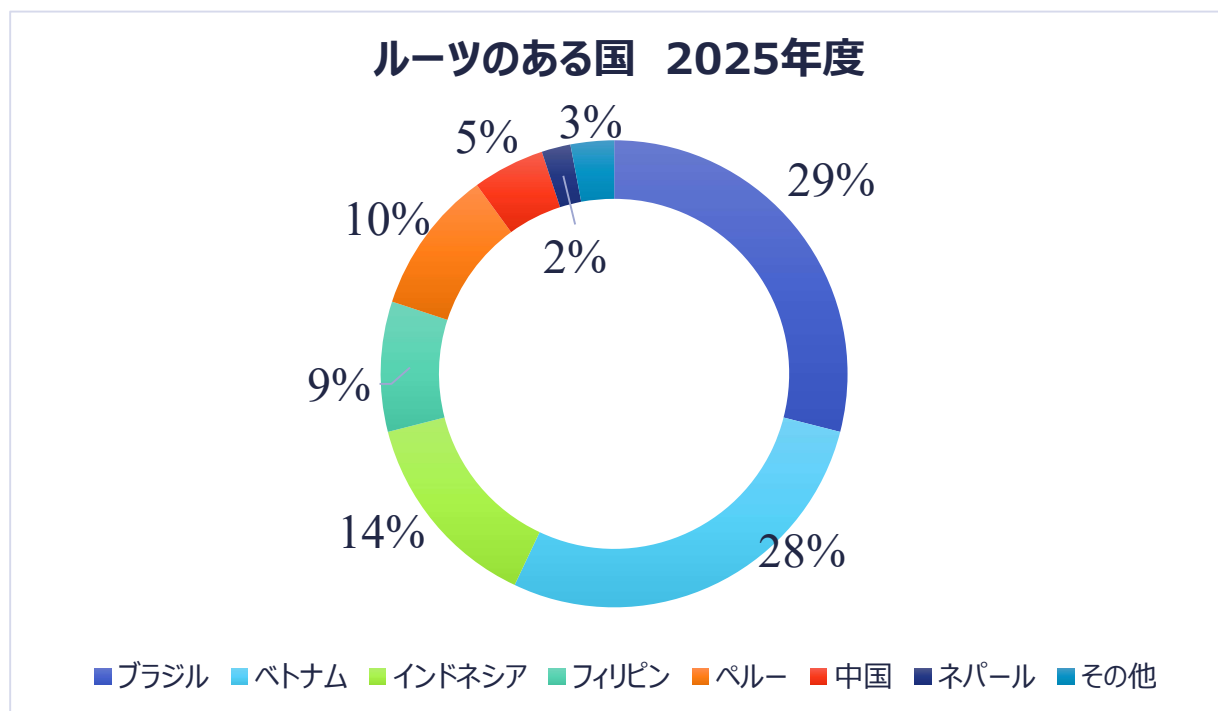
週末スタッフ
フィリピン出身♪
週末のクラスを
サポートします！



※他にも、有志のみなさんの協力によって成り立っています！

通室生徒の概要 その1 「ルーツのある国」

2025（令和7）年度は、**322**人（子ども292人、大人30人）が学習しました。



ここ数年、ブラジルルーツとベトナムルーツの子どもたちの割合が拮抗しています。ブラジルルーツの子どもたちは日系人でもととのルーツは日本にあり、名前の一部に祖父母の名前や苗字を持っていることが多いです。ブラジル以外でも、ペルー、インドネシア、フィリピン出身の子どもたちは、この地域では日系人であることが多く、身分による在留資格を有することが多い印象です。子どもは、母国と日本とを行ったり来たりしながら、育つこともあります。

一方、ベトナムルーツの子どもたちは、就労目的で来日した親に連れられて来日するということが多く、親たちは母国で大学や専門学校を卒業して来日する方が多いという印象です。

通室児のルーツのある国の割合は、西尾市の外国籍市民のそれとは一致しません。それは、当教室スタッフの呼びかけや、母語クラスの有無、対応言語によっても、違いが出てくるためです。

通室生徒の概要 その2 「クラスと人数」

	所属	年齢・学年	登録人数(人)
不就学クラス 不就園5歳児クラス (所属のない5歳児・ 学齢期の子ども)	なし	5歳児	2
	なし	6～12歳	6
	なし	12～15歳	1
不登校対応 (所属のある学齢期の 子ども)	小学校	小学1～6年	2
	中学校	中学1～3年	1
小・中学生 日本語クラス	小学校	小学1～6年	65
	中学校	中学1～3年	57
過年齢クラス (中卒年齢以上の 子ども)	高校	1年～4年	4
	なし	16～およそ18歳	23
母語クラス	【母語/継承語】 ポルトガル語	小学1～6年	13
	中国語	小学1～6年	12
	ベトナム語	小学1～6年	19
	スペイン語	小学1～6年	17
在園プレスクール おやこプレスクール	保育所・なし	年長	70
おとなのほんご	-	19歳以上	30
計			322

今年度は、登録人数が3年連続で300人を記録しました。対応できる人数としては、すでに飽和状態に達しているクラスもあります。とくに、就学前の日本語クラスであるプレスクールは保護者の関心が高く、市内で新一年生になる子どもの半数以上が参加をしました。

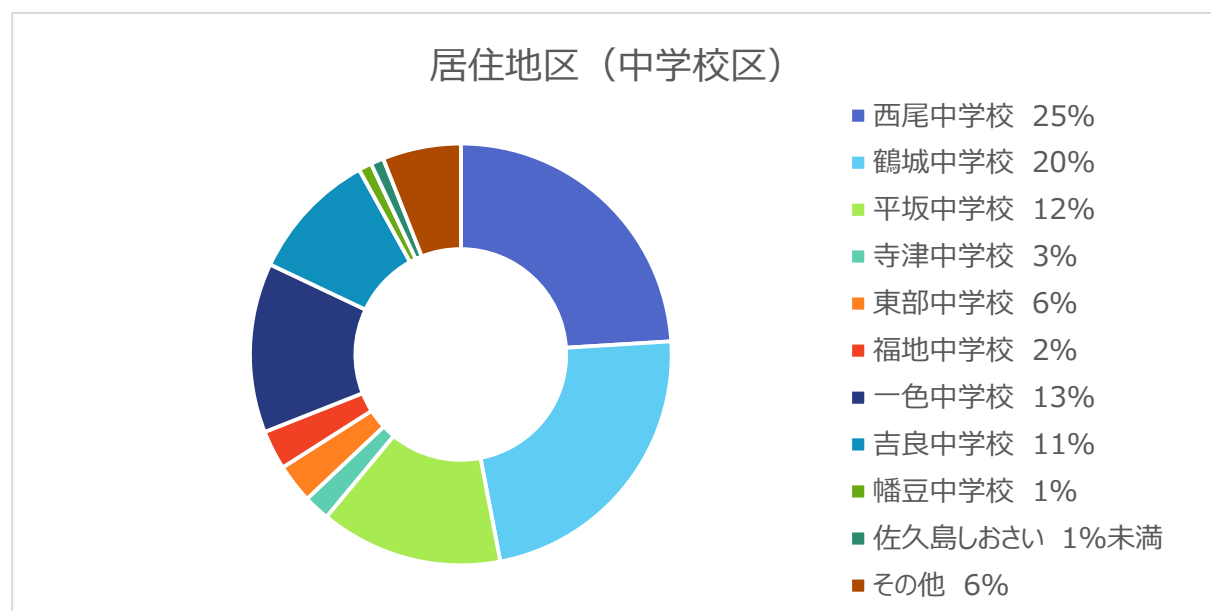
また、学齢を過ぎた過年齢クラスも20人を超え、日本で進学をしたいという若者のニーズが高いことがうかがえます。愛知県では、令和5年度より高校受検の出願方法がwebのみとなり、個人のスマホ・タブレットから登録をするという方法に変更になりました。初年度は出願時期が早まったことや、生徒がパスワードを忘れてしまい大切なお知らせを読めないなどのトラブルが多発しましたが、そういったことを踏まえて今年度を迎えられるので、生徒も指導員もスムーズに受験シーズンを乗り切ることができました。

通室生徒の概要 その3 「利用者の変遷」

過去5年間の利用者とルーツのある国

令和3年度 2021.4.1- 2022.3.31	令和4年度 2022.4.1- 2023.3.31	令和5年度 2023.4.1- 2024.3.31	令和6年度 2024.4.1- 2025.3.31	令和7年度 2025.4.1- 2026.3.31
248人	273人	334人	351人	322人
ブラジル ベトナム 中国 フィリピン ハル インドネシア ネパール エクアドル 日本	ブラジル ベトナム 中国 フィリピン ハル インドネシア ネパール エクアドル 日本	ブラジル ベトナム インドネシア フィリピン ハル 中国 日本 ネパール ボリビア スリランカ タイ パラグアイ スペイン	ブラジル ベトナム インドネシア フィリピン ハル 中国 日本 ネパール ボリビア スリランカ タイ パラグアイ スペイン モンゴル	ブラジル ベトナム インドネシア ペルー フィリピン 中国 日本 ネパール スリランカ タイ パラグアイ モンゴル

学習者の居住地区の割合



KIBOUは、外国ルーツ家庭の多い西尾中学校地区と鶴城中学校地区の中間地点にあり、その2校からは、自転車で15分程度の距離です。また、一色中学校地区で週2回、吉良中学校地区で週1回出張教室を開催していますので、割合に影響を与えているようです。

活動紹介

【不就学クラス】



対象→ 学齢で就学していない、あるいは就学が難しい子ども

曜日→ 火曜日～木曜日 ※金曜日は家庭訪問日

時間→ 午前 9 時半～12 時

活動内容→ 学校教育課との協働で家庭訪問を行い、就学をうながす

日本語学習(会話、学校生活で使う言葉、学習につながる語彙)

生活リズムをととのえ就学準備をする、気候や天気にあった服装をする



担当より一言

今年度は、私が KIBOU で働き始めて、もっとも不就学クラスを利用した子どもの少ない年でした。

3月末の時点で、不就学クラス利用児童は 6 人でした。それに加えて、不登校状態の2人が参加しました。多言語で対応してくれるスタッフのいるところで、兄弟姉妹や家族とのつながりのある KIBOU には、そういった困り感のある子どもも参加をします。

私たちの大きな目標である“不就学ゼロ”は、達成に近づいているのではないかと考えています。その背景には、今年来日した外国ルーツの子どもたちの多くが来日前から在留資格を持ち、来日後すぐに就学できたこと、それから、来日後に日を置かずに就学するという流れができつつあるのかなと感じています。

子どもたちはベトナム、フィリピン、インドネシア、ブラジルなどがルーツで、言語・文化・気候の違いから適応に時間がかかるため、母語と結びつけながら理解しやすい指導を工夫しました。学年が異なるため教材準備も個別に対応し、まずひらがな・カタカナ、学校で使う言葉、体調に関する表現など基礎的な内容を導入しました。算数や工作、歌、ストレッチ、運動の時間も設け、縄跳びやかけっこなど段階的にレベルを上げながら取り組みました。最初はうまくできずに戸惑う子もいましたが、続けるうちにやる気が高まり、楽しんで活動する姿が見られるようになりました。

子どもは気分の波が大きく、対応に悩むこともありましたが温かい目で寄り添って子どもの小さな成長を目にすることが大きな喜びでした。関わった子どもたちの成長を楽しみにしています。

ゴーテイトウフォン



就学したらすぐに使う言葉がわかるようになることが大切だね！

ときには、運動もします♪

活動紹介

【 不就園5歳児クラス 】



対象→ 西尾市在住の年長児で申込した家庭の子ども、
あるいは園から申込連絡のあった子ども

曜日→ 在園プレスクールは平日。おやこプレスクールは、土・日

時間→ 在園プレスクールは午後。

おやこプレスクールは、11時～12時/午後1時～2時/午後3時～4時

活動内容→ 絵本、文房具、オリジナル教材などを使って、就学を見据えた
授業形式の日本語学習をおこなう



担当より一言

毎年夏に学校教育課の職員さんと不就園年長児の居場所を確認するための戸別訪問をしています。今年度もうだるような暑さの中、ご協力いただき、家庭訪問を実施しました。

今年度は、例年よりも母国で就学をしていたり、就学予定であるという子どもが多かった印象です。

不就園状態で発達に遅れがある子の家庭へはこまめに家庭訪問を繰り返しました。そして、就学説明会に参加してもらい、学校教育課へつなげました。こまめに連絡を取る中で、就学が決まり、いろいろな支援を受けながら就学への準備をしていたのですが、断念し、子どもを母国へ帰らせました。

不就園クラスに通った子は、日本生まれ・育ち、そして日本の学校経験のある両親が共働きで育てていました。保護者は、日本語が分からない我が子を保育園へ入れることをためらっていました。プレスクールに通いだしてから毎日連絡を取り、様子を伝え、励まし続けることで心が決まり無事に就園ができました。毎年、痛感していることですが保護者の覚悟なしでは子どもたちの就園や就学は叶いません。ただ、保護者も一人の人間、初めてのことに戸惑い、不安になり、嫌な思い出がよみがえることもあります。ですので、急かさず日本の制度や、就学までの流れ、それまでに子どもに必要な環境の確認、施設の見学で実際に“自分の目で見る”機会を作り、保護者自身で将来のイメージができて決められるようなサポートをこれからも心掛けたいです。

今年度は私が初めて担当した不就園児たちが高校受験をした年でもありました。久々に会うみんなは立派でした。プレスクールにはスムーズな就学、ドロップアウトを防ぐ役割もあります。9年間の義務教育を終えたことは彼らその家族の頑張りの結果ですが、これからも、プレスクールがプラスな経験になるように努めていきたいです。



ふに玉すくい
触感を楽しむ

新聞紙で
「雨ふりごっこ」



9年前 不就園児プレスクール
おわりの会

城間かおり

活動紹介

【小学生 日本語クラス】



対象→ 西尾市内に住む小学生で、学校生活に必要な日本語を学びたい子ども

曜日→ 小学生： 火曜日～金曜日のうち、希望する 2 日を選んで通室

時間→ 小学生： 午後 4 時～5 時半のうち、30 分

活動内容→ 小学生は、子どものレベルにあわせ、生活や学習内容に沿った、
短くて内容のある文章を読み、再話した後、作文、発表



担当より一言

今年度の小学生クラスに通った子どもは、ブラジル、ベトナム、インドネシア、フィリピン、ペルー、パラグアイ、中国、ネパール、スリランカ、オーストラリアのルーツを持つ子どもでした。また、日本生まれの子、まだ日本に来たばかりの子、学校での支援対象になっていないが、もっと勉強をしたい子、日本語で日常会話が十分にできない子、日常会話ができて、学年相当の学習言語能力が不足している子、学習活動への取り組みに支障がある子もいました。

今年いちばん印象が残っているのは、たくさん工夫した「漢字パズル」、「似ている漢字」と「漢字イラストカード」などの教材でした。楽しく漢字を覚えるためには、ゲーム性を取り入れたり、視覚的に理解したりする「遊び」の要素が効果的でした。日々努力して、子どもたちのできる漢字が増えてきたりする様子が見えてきました。

そして、九九が苦手な子に、「九九塗り絵」、「虫食いかけ算」、「暗号かけ算」などの教材を用意しました。読解力が苦手な子に、「読書の木」という本棚を用意し、「絵本で読解練習」などの教材を作ったりして…一人一人に応じた教材を用意しました。子どもたちは、楽しく一年間通うことができたのではないかと思います。

そして、小学生クラスの子どもたちは、自己紹介カードで壁を飾ったり、イベントとしてお楽しみ会にも参加しました。様々な交流活動を通して、子どもたちは母語や日本語を使って、多様な場面でコミュニケーションを取れるようになったと感じます。

また、宿題の分からない部分や、夏休みの作文や詩などをやさしい日本語で指導し、完成させて提出できたようです。「短文から作文になった!」、「好きな言葉から詩になった!」、「できないよ…」と言いながら、「できた!」と嬉しそうにしていました。そういった活動で自信をつけられた子が増えました。

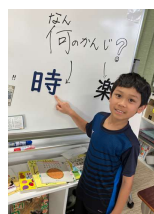
毎年、新一年生を迎えるたびに、子どもたちへの日本語学習支援を続けたいと感じます。

子どもたちの自信満々な笑顔が増えますように。

古賀海慧



漢字クイズを楽しんだり、ときには、プレゼントも、もらったりしました!



活動紹介

【中学生 日本語クラス】



対象→ 西尾市内に住む中学生で、教科学習に必要な日本語を
学びたい子ども

曜日→ 中学生：1・2年生は火曜日と木曜日、3年生は水曜日と金曜日

時間→ 中学生：午後6時～午後7時半

活動内容→ 所属クラスでの授業に参加できるように、日本語学習を
中心に実施。適宜、定期テスト対策、受験対策をおこなう



担当より一言

今年度の中学生クラスは、ブラジル、インドネシア、フィリピン、ペルー、ベトナム、オーストラリア、中国、スリランカ、タイなど、様々な国のルーツを持っている生徒が来室しました。クラスの構成は中学1年生が11人、2年生が10人、3年生が22人でした。3年生のクラスでは椅子が足りないという場面もあったほどでした。この中学3年生の生徒たちは、全日高校、夜間定時制高校を受験しました。学習だけでなく生活面も大変な学年ではありましたが、生徒全員が努力を重ね、無事に合格を勝ち取ったことに、担当として満足しています。



今年度の2年生は、一斉授業よりも個別対応を中心に実施しました。特にテスト期間が近づくと、生徒はテスト範囲を持参し、計画的に学習に取り組む様子が見られました。1年生には一斉授業を多く実施しました。1年生のほとんどの生徒は、日本に来てまだ日の浅い生徒でした。辞書やタブレットを使いながら、数学、英語、理解、など勉強しました。

学習面以外にも、今年は生徒たちがスタッフと以前より積極的にコミュニケーションを取れるようになったと感じています。学校での悩みや辛い経験について話してくれるようになったのもその一例です。

来年度は、生徒一人ひとりのニーズに基づく支援を充実させ、自立学習に向けた取り組みを継続していけたらと考えています。

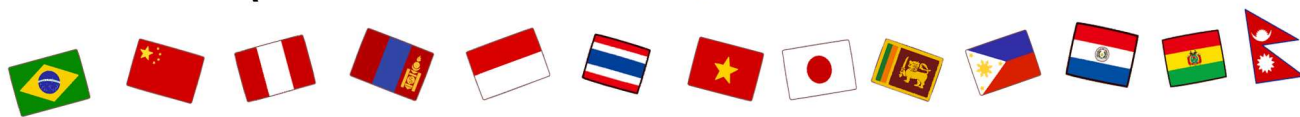
カスティーヤ アンドレア

定期テストや、
受検等、個別対
応の必要なこと
も多い中学生クラス



活動紹介

【一色クラス/吉良クラス（小・中学生）】



対象→ 西尾市内に住む中学生で、教科学習に必要な日本語を
学びたい子ども

曜日→ 一色クラス:毎週火曜日、木曜日

吉良クラス:毎週金曜日

時間→ 午後 3 時半～午後 7 時

活動内容→ 宿題対応、日本語学習、レクリエーション



担当より一言

一色クラスは 3 年目、吉良クラスは 2 年目を迎え、日本語を学ぶ子どもたちの成長を見ることができました。

日本語がほとんど話せなかった子が、がんばって今日の学校での出来事を話してくれたり、漢字が嫌いでひらがなばかり書いていた子が漢字を使い文章を書くようになったりとその成長ぶりに驚かされました。

昨年度と同様に、今年度も子どもたち同士の交流がたくさんできるように、百人一首やオセロ、すごろく、工作など新しい遊びを取り入れました。子どもたち同士でルールを教え合い交流ができたように思います。

そして夏休みに一色クラスと吉良クラスの交流会を開催。2つのクラスが集まり、おもち作りと夏休みの宿題を実施しました。もちつき機で回るおもちにみんな興味津々、つきたてのおもちを美味しくいただきました。夏休みには、もう一つ、特別な体験がありました。それは、NHK の子ども番組の撮影隊が来たことです。子どもたちは楽しく交流し、ダンスを覚えてお楽しみ会で披露しました。子どもたちは貴重な経験をすることができました。

来年度は子どもたち同士の交流に加え、彼らがさらに成長できるような支援をしていきたいです。



一色クラスの中学生
オセロで交流♪

てれび戦士と一緒にダンス



おはぎ作りに挑戦！

江本有美



活動紹介

【過年齢（16～18歳）クラス】

対 象 → 学齢期を過ぎた若い日本語学習者
（16歳～ およそ18歳）
曜 日 → 火曜日～木曜日
時 間 → 午前9時半～12時/
午後1時～午後3時
活動内容 → 高校進学希望者や夜間中学入
学準備生対象に、受験や入学・進
級のための日本語学習サポート。

今年度の過年齢クラスはとても賑やかでした。指導員に冗談を言ったり、習ったばかりの日本語を使って友達に話すなどクラスのみながよく笑っていました。そして進学希望で KIBOU に来たのに受験直前に「就職が決まった、引っ越しをする、帰国する」と退室をする生徒が多かったです。今年度の生徒は遠足やキャッサバ掘り、にしおマラソンの応援ボランティアなどの行事に積極的に参加し、互いにコミュニケーションを深めていたように思います。来年度も生徒同士のコミュニケーションを深められるような活動を行っていきたいです。

江本有美



【日常生活につまずきのある若者クラス：のぞみクラス】

対 象 → 日常生活につまずきのある若者
（グレーゾーン）のうち、学籍や仕事がないもの
曜 日 → 火曜日～木曜日
時 間 → 午前9時半～午後3時
めあて → 時間や約束を守りながら自立的な一日を過ごせるようになること。進学や就職など、目的をもって学習すること。

このクラスは、文科省の委託事業として実施したもので、今年度が2年目でした。

設置の目的は、自立的に一日を過ごせるようになること、進学先・就労先を見つけて目指すこと。それに向けて、学習や生活面の支援を行いました。

大切にしたことは、「支援の限界を、こどもの限界にしない」。周囲のおとなが、若者たちの選択肢を奪ってはならないのです。これからも、のぞみクラスでの学びが、ささやかな道しるべになりますように。そして、彼女らが豊かな人生を歩んでいけますように。

大橋歩美



授業風景



キャッサバ掘り体験もしたよ



佐久島へ遠足♪



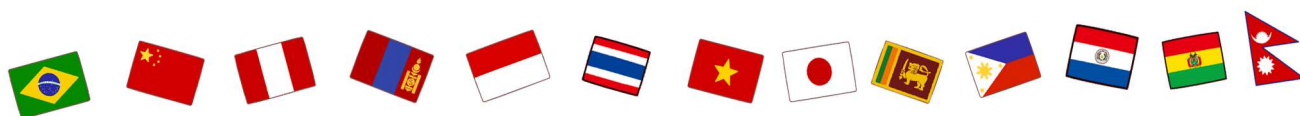
フェスティバルで
KIBOU カフェ出店！



ゆっくりじっくり取り組みます

活動紹介

【在園児プレスクール / おやこプレスクール】



対 象 →西尾市在住の年長児で申込した家庭の子ども、
あるいは園から申込連絡のあった子ども

曜 日 →在園プレスクールは、平日。おやこプレスクールは、土・日

時 間 →在園プレスクールは、平日の午後
おやこプレスクールは、週末に4クラス

活動内容 →絵本、文房具、オリジナル教材などを使って、就学を見据えた
授業形式の日本語学習をおこなう。



担当より一言

今年度、“おやこプレスクール”と“在園児対象のプレスクール”合わせて70名の参加がありました。おかげで、KIBOUの土曜日と日曜日はとても賑やかでした。

おやこプレスクールでは、毎月のテーマに合わせて、歌、工作、体を使った活動などを取り入れて親子で楽しみながらひらがなにも親しむようにしました。プレスクールに親子で参加することにとっても意義があると思っています。子どもたちの新しい環境、体験に対する反応はさまざまです。だから大好きなお父さん、お母さんは大きな安心材料であり、学びの楽しさを倍増させる存在でもあります。

在園児対象のプレスクールでは、5園を巡回訪問しました。子どもたちの日本語レベルに合わせて、教材を用意し、母語で実施をした園もありました。参加した子どもの保護者からは「自分もひらがなが読めなくて日本の学校の経験がないから、就学の準備をしたいのに何をしたらいいかわからなくて悩んでいたけど、プレスクールに参加することで“頑張る方向性”が見えて、自分も子どもと楽しみながら勉強ができた。」という感想をいただいたことがとても嬉しく、気を引き締めて今後も有意義な時間を提供できるようにしたいと思います。

城間かおり



在園児対象プレスクール



ひらがな全制覇で
たのしい詩を読んだよ♪



親子で競争

活動紹介

【多言語サポート】

対象 → 日本語での会話・書類記入などが難しい保護者

※医療、法律関係の通訳・翻訳は受け付けていません。

曜日・時間	ポルトガル語：	火～金	⇒	午前 9 時半 ～ 午後 5 時半
		土	⇒	午前 9 時 ～ 午後 5 時
ベトナム語：	火～金	⇒	午前 9 時半 ～ 午後 4 時半	
	土	⇒	午前 9 時 ～ 午後 4 時	
スペイン語：	火～金	⇒	午前 10 時半 ～ 午後 7 時	
	土	⇒	午前 9 時 ～ 午後 5 時	
中国語：	火～金	⇒	午前 10 時半～午後 7 時	
	土	⇒	午前 9 時 ～ 午後 5 時	
インドネシア語：	火～金	⇒	午前 10 時半～午後 7 時	
	日	⇒	午前 9 時 ～ 午後 4 時	
フィリピン語：	日	⇒	午前 9 時 ～ 12 時半	

【母語・継承語クラス】

【中国語：古賀海慧】

多文化教室 KIBOU の教育文職工作是一项非常有意义的工作。KIBOU 在周六开设了母语（继承语）班（少儿中文拼音基础讲座）。语言是交流沟通的桥梁。语言也是链接父母亲情与子女之间的感情纽带。

KIBOU 中文班为西尾市附近在住的华裔子女提供了良好的语言学习环境。去年我们参加了「アクティにしおまつり」的母语班中文成果发表，孩子们以歌颂家乡，古诗朗诵等节目赢得了鼓励和掌声。今年年初我们还举办了 KIBOU 母语班文化交流会，中文班的孩子们用中日双语介绍了大熊猫的故乡，以及汉字在中国的起源，击鼓传花的中国传统小游戏让会场充满了欢声笑语。随着孩子们年龄的增长，通过扎实的基础学习，孩子们逐步掌握了拼音拼读能力，组词造句能力和中短文章的阅读理解能力。希望孩子们的汉语在今后的学习中，学有所成，学以致用。

KIBOU での母語教育活動は、大変意義深い取り組みだと考えています。そして、毎週土曜日に母語（継承語）クラス【子ども向けの中国語ピンイン基礎講座】開いています。言葉はコミュニケーションの架け橋であり、親子の絆でもあります。KIBOU の中国語クラスは、西尾市近郊に住む中国人の子どもたちに、優れた母語学習環境を提供することを目指しています。11 月の「アクティにしおまつり」に参加し、子どもたちは故郷の紹介や古诗の朗読などの発表をし、観客の励ましと拍手を受けました。今年 3 月には、KIBOU 母語クラスの文化交流会を開催し、子どもたちはパンダの故郷や漢字の起源について、中国語と日本語で紹介しました。そして、『击鼓传花』ゲームで会場が笑いに包まれました。成長とともに、子どもたちは、ピンインを読む能力、短文の形成力、短文および中文記事を読んで理解する読解力を徐々に習得したようです。子どもたちの中国語がさらに上達し、学んだことを応用できるようになることを願っています。



【ポルトガル語：城間かおり】

Ano passado, ensaiamos e apresentamos a quadrilha da “Festa Junina”. Então, decidimos realizar a Festa Junina para que elas pudessem vivenciar um pouco da tradição brasileira. O número de crianças nascidas e criadas no Japão aumentou neste último ano. Por isso, além da leitura e da escrita, queremos continuar incorporando experiências e atividades que permitam conhecer o Brasil, para que elas possam ter orgulho de suas raízes.

ポルトガル語クラスでは、昨年度、ブラジルの祭り“フェスタ・ジュニーナ”の踊りをみんなで練習して発表をしました。今年度は、実際にフェスタ・ジュニーナを体験しました。ポルトガル語クラスに通う子どもたちは、日本生まれ日本育ちが増えてきています。そのため、これからも読み書き以外に、ブラジルを知るような体験、学習を取り入れて、自分のルーツに誇りが持てるようにしていきたいです。



アルファベットで
ゲーム



いたずら好きな妖怪
サシ・ペレレの劇



【フィリピン語：前山マリヴィク ビナリア】

Limang taon na akong nagtatrabaho sa Kibou. Ang trabaho ko ay interpreter at tagasalin sa wikang Filipino.

Noong nakaraang taon, sumama ako sa pagbisita sa mga bahay bahay para alamin ang mga batang hindi pumapasok sa kindergarten at elementary. Nagbigay din ng interpretasyon para sa kunsultasyon tungkol sa mga alalahanin ng mga magulang. Tuwing linggo, tumutulong din ako sa preschool at klase ng mga nasa hustong gulang. Ang preschool ay isang sesyon ng pagsasanay para sa mga bata bago pumasok sa elementary. Sa klase ng wikang hapon para sa mga hustong gulang, ang layunin nito ay tulungan ang mga kalahok na maunawaan ang wikang hapon, makipag usap na may kumpiyansa sa sarili sa pamamagitan ng pagsasanay sa mga salitang ginagamit sa trabaho, pagsusulat ng hiragana, katakana at pagbabasa. Naniniwala ako na kinakailangan ito upang mabawasan ang mga pagkabalisa tungkol sa buhay pamilya dito sa Japan at upang mamuhay ng komportable, ipagpapatuloy ko na magbigay ng suporta sa abot ng aking makakaya.

私は KIBOU で働いて 5 年目です。私の仕事は、フィリピン語の通訳翻訳です。今年度は不就園・不就学調査のために家庭訪問に同行したり、保護者の心配事などの相談通訳に入りました。日曜日はおやこプレスクールとおとなのほんごクラスのお手伝いもしました。おやこプレスクールは子どもが小学校入る前のトレーニングセッションです。おとなのほんごクラスでは、仕事で使う言葉、ひらがなやカタカナの書き方、読む練習をして言葉を理解することで、自信を持ってコミュニケーションを取れるようになることを目的に授業をしました。これは日本で家庭生活の不安を軽くして快適に暮らすために必要だと思います。これからも私は、できる限り支援を続けていきたいです。



【スペイン語：カスティージャ アンドレア】

Este año se desarrollaron diversas actividades que promovieron el aprendizaje del español como lengua materna. Por segundo año consecutivo, se impartieron clases a estudiantes de distintos países, evidenciándose un avance significativo tanto en la lectura y como en la escritura, dando inicio a la práctica de la escritura cursiva.

Se destacaron actividades como la presentación en el “festival de Acty Nishio” y el “Intercambio entre clases de lengua materna”, donde fue fundamental el trabajo en equipo con las familias. Asimismo, fue valioso acompañar el progreso de los estudiantes y recibir el reconocimiento de los padres.

El próximo año quiero continuar fortaleciendo el desarrollo de los alumnos, integrando no solo aspectos lingüísticos, sino también culturales.

今年は、さまざまな活動を通して、子どもたちが母語であるスペイン語を学び、成長する一年となりました。2年連続でクラスを行い、さまざまな国の子どもたちが参加し、読み書きの力が大きく伸びました。また、活字体に加えて筆記体の練習にも取り組み始めました。

「アクティにしおまつり」での発表や「母語クラス交流会」などの活動も行い、保護者の皆さんの協力と温かいサポートに支えられながら取り組むことができました。子どもたちの成長を間近で感じ、保護者の方々から嬉しい言葉をいただいたことも、とても励みになりました。

来年も引き続き、言語だけでなく文化やルーツも大切にしながら、子どもたちの成長を支えていきたいと思えます。



【ベトナム語：ゴートイトウフォン】

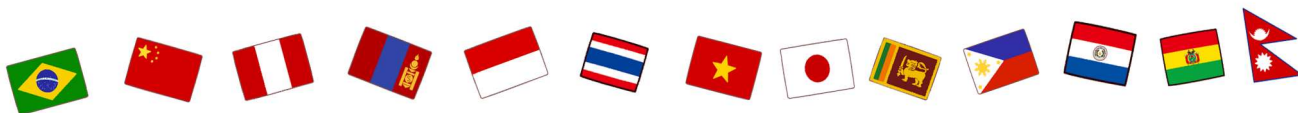
Lớp tiếng Việt trong nhiều năm được tổ chức nhằm giúp cho các em nhỏ có nguồn gốc Việt Nam có thể duy trì và gìn giữ tiếng mẹ đẻ-tiếng kế thừa. Với sự hỗ trợ nhiệt tình của giáo viên thỉnh giảng Thu Hằng lớp học đã diễn ra một cách suôn sẻ. Chúng tôi đã thực hiện chia lớp phù hợp với trình độ của từng em nhỏ, cùng với đó là niềm xúc động và hạnh phúc ngập tràn khi được nhìn thấy sự tích cực học tập của các em.

Không chỉ học ngôn ngữ mà lớp còn tổ chức các hoạt động như là trò chuyện, thảo luận và các hoạt động làm thủ công khéo tay để kỉ niệm các ngày lễ lớn của 2 đất nước. Tại lễ hội Akuti Nishio các em nhỏ đã tham gia văn nghệ với phần giới thiệu về các trò chơi dân gian Việt Nam xưa và tiết mục nhảy. Đặc biệt năm nay là lần đầu tiên 4 lớp tiếng mẹ đẻ cùng tổ chức ngày hội giao lưu, các em nhỏ đã rất kì công và tích cực chuẩn bị các đồ trưng bày cũng như chuẩn bị cho phát biểu. Nhìn phong thái khỏe khoắn khi phát biểu của các em, chúng tôi đã vô cùng vui mừng và có thêm nhiều động lực.

Trong năm học tới chúng tôi sẽ tiếp tục phối hợp với giáo viên thỉnh giảng để xây dựng lớp học ngày càng tốt hơn.

ベトナム語クラスでは、ベトナムにルーツを持つ子どもたちが母語・継承語を維持できるよう取り組んでいます。外部講師のトゥハン先生の協力もあり、授業をスムーズに進めることができました。子どもたちのレベルに合わせてクラスを分けて指導し、子どもたちが積極的に学ぶ姿に感動しとても嬉しかったです。

ベトナム語クラスでは、言葉の勉強だけでなく、行事を祝うための話し合いや製作も行いました。アクティにしおまつりでは昔遊びの紹介やダンスを披露しました。特に今年は初めて4つの母語クラスで交流会を開催し、子どもたちは発表や展示の準備に取り組みました。元気に発表する姿を見て、大きな喜びとやりがいを感しました。来年度は、さらにより良いクラスづくりに向けて講師と共に取り組みを重ねていきます。



春

あたらしい一年の始まりです！

2019年11月にアクティにしおへ引っ越しをして、6年目の春を迎えました。今年は、どんな生徒たちが学びに来るでしょうか。楽しみにしながら、準備に取りかかります☆

フードバンクのお手伝い（通年）

西尾市ではフードバンクが活発に活動していて、困難な状況で暮らす方へ食料支援をしています。また、市内各地区で有志の方による子ども食堂も開催されています！
私たちは、ファミマフードドライブで集まった食品をフードバンクへ届けるお手伝いをしています。生徒にとっても、地域の活動を知る良い機会となっています。



おとなの日本語クラス 開催延長

世界的な政情不安、不安定な雇用状況で働く人たちを直撃し続けています。子どもの育つ環境を安定的ものにするを目的として、このクラスを継続しています。



自己紹介カード

今年は、大きなこいのぼりの鱗に、自己紹介をしました。どんなこと書いたかな。今年も良い一年になるといいね！



春の遠足

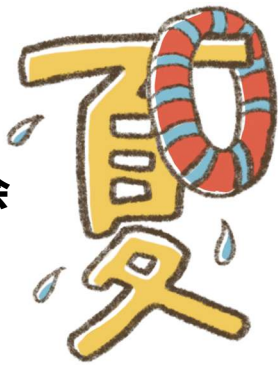
平日の昼間に勉強をしている、不就学・過年齢クラスの生徒たちは、佐久島へ行きました。下調べをたくさんして、しおりを作って、期待値を高めて出発！
初めて船に乗る子もいて、とってもよい経験となりました。



入口の飾りつけ

小学生の子どもたちを中心に、絵本のなかの人物やものを作って、入口を飾ってくれました。
どんどん伸びる“つる”は、壁を伝って階段を上って行ってしまいました。





おたのしみ会

子どもどうしの交流を目的とした“おたのしみ会”を開催しました。今年も、NHK 天才テレビくんのてれび戦士が遊びに来てくれて、いっしょにダンスを踊りました！



お手伝いをしてくれた中高生以上のみんなには、こども食堂さん提供のカレーが振舞われました。



多言語による就学説明会

“多言語による就学説明会”は、8月末の土曜日に開催することが恒例となっています。今年も、熱心な保護者さんが大勢参加してくれました。下のQRコードを読み込むと、就学についての疑問や不安が解消できる短い動画を見ることができます！

にほんご

ポルトガル語 (Português)

中国語 (中文)

ベトナム語 (Tiếng Việt)

スペイン語 (Español)

タガログ語 (Tagalog)

インドネシア語 (Bahasa Indonesia)

ネパール語 (Nepali)



県警共催企画 生活安全講話

～薬物・SNSの危険～

ゲームやSNSなど、スマホばかり見ている子どもがとて多いです。10代が巻き込まれやすい犯罪、とくに薬物とSNS上のトラブルなどを、生徒が話し合いながらすすめるトークショー形式で行いました！



秋の遠足

平日午前クラスの生徒たち合同で、秋の遠足へ行きました。市内にある、こどもの国と饗庭塩の里です。あと少しで受検！仲間との楽しい時間を楽しみました。

収穫体験

協力者のご厚意により、キャッサバの収穫体験をしました。
背丈より高く育った茎を切り落として、しっかり根付いている芋を力いっぱい引っ張って収穫しました。



定時制高校の見学会

高校受検をするために勉強をしている生徒が、先輩たちの学ぶ姿と、入学してからの生活、費用、進路などのお話を聞きました。

不安いっぱいだった参加生徒も安心した様子。



にしおマラソンの応援

応援ボランティアに参加できるということで、寒い冬の日、早朝集合して応援しました！参加賞の帽子は、思い出に残りました。



いよいよ受検の季節

夜間定時の見学会へ参加したり、過去問を解いたりして、受検が近づいてきたことを感じ始めます。そわそわする子、まだまだ余裕顔の子。いっしょに勉強できる回数も少なくなってきました。



きらフェス♪

きら市民交流センターのフェスティバルに、KIBOU カフェを出展しました。舞台発表する方など、お客さんがたくさん立ち寄ってくれました。ちびっこ店員さんも大活躍でした♪



母語クラス交流会

普段、クラスに分かれて勉強している母語・継承語クラスの子どもたち。お互いの交流を目的に、交流会をしました！初めて知ることもあって、とても楽しかったようです♪



のぞみクラス修了

2年間に渡る文科省委託事業で設置した「のぞみクラス」が修了しました。ゆっくりじっくり学ぶクラスとして、のべ5名の生徒を受け入れました。屋外作業やお祭り、ボランティア活動等たくさん参加をさせていただきました。関わってくださった皆様、ありがとうございました！



修了式

KIBOUでの勉強も、3月で一年が修了します。受検も終わって、それぞれの新しい世界へ旅立っていくみんなへ おめでとうございます！これからも、応援しています！



ふみ出す1歩が、世界を変える

天才てれびくん

天才てれびくん
Eテレ 毎週月曜 午後5時30分

▽愛知・外国につながるのある子とのお楽しみ会 SP
▽愛知・西尾市で外国につながるのある子たちのお楽しみ会を盛りあげよう！タイアンとヒトミがビンゴやネクターダンスでインドネシアやモンゴルから来た子と楽しく交流！

テレビ・新聞に掲載されました！

スタッフの活躍、KIBOUの活動紹介など、掲載されたものを紹介します。

- * 中日新聞 2025年5月29日 西三河版「「だいじょうぶ」恵みの言葉で背中押す」にて紹介されました。
- * 中日新聞 2025年7月27日 西三河版「外国ルーツの中高生にネットの危険など警鐘」にて紹介されました。
- * NHK Eテレ 天才てれびくん 9月2日「愛知・外国につながるのある子とのお楽しみ会」が放送されました。
- * 中日新聞 2026年3月14日 西三河版「希望胸に笑顔の巣立ち-西尾外国籍の子ら「KIBOU」修了式-」にて紹介されました。
- * 東洋経済 ONLINE 2026年3月17日 愛知県西尾市、子どもが「国籍関係なく輝ける」よう15年続ける学内外の支援とは一人ひとりの可能性を広げる「多文化共生教育」

次年度へ向けて

2025年度は、外国ルーツ市民にとって試練の年となりました。入管法の変更に伴う、制度の運用厳格化等は、連日テレビや SNS を賑わせ、生活者としてこの町に住む人たちの気持ちをざわつかせるには十分すぎる内容でした。情報が飛び交い、噂が広まり、大人たちの動きが変化していると感じました。特に経営ビザ取得厳格化と永住ビザ取得要件（特に料金）のハードルが一気に上がったことで、大人たちへかかるプレッシャーが高まりました。

影響はすぐに現実のものとして現れ、中卒以上の若者クラス・かねんクラスへの申込者と、おとなの日本語クラスへ戻ってくる人たちが増えました。事情を聞くと、「資格更新のためには、未成年は在学している必要があると聞いた。」だとか、「JLPT の試験を受けなければ資格更新できないと聞いた。」など、当事者の不安が垣間見られる理由がありました。どんな理由であれ、若者が学ぶ時間を確保できるということは、チャンスですし、将来への道が開かれる一歩となることは間違いありません。

彼らに日本での過ごし方について尋ねてみると、小さい弟妹の世話をしていたり、何もせず一日寝ている、というようなこたえてした。そのうちの一人は複雑な家庭環境で育ち、母国で中卒しているかどうかを把握している保護者がおらず、確認にとても時間がかかりました。国によっては卒業資格の管理の仕方がちがいます。ある国では、日本の文部科学省にあたる教育省のウェブサイトで生徒のIDを入力すれば確認ができるというシステムですし、またある国では、一冊の帳面に各学年の成績を手書きで記入していくというスタイルです。いずれにせよ、確認ができなければ、高校受検の資格を得ることができませんので、最初に乗り越えなくてはいけない山となります。

中卒していない場合には、その卒業資格を取るべく、市教委に相談へ行くか、夜間中学で学びなおしをするかのどちらかになります。私たちの活動地域からおすすめてできる夜間中学はなく、どの学校も片道 1 時間半程度かかります。学ぶことから遠ざかっている若者が、日々それだけの時間と労力を費やして学びの場へつながり続けることができるか、卒業までの2年間で過ごすことができるか、保護者はその交通費等を負担し続けることができるかは、疑問です。

一方、日本の中学を卒業して一時帰国したり、アルバイトをして自由になるお金を手にしたいという子もいます。しかし、中卒以降、想像するような楽しい生活は待っているはずもなく、同級生や友達は学校や部活に忙しい日々を送り、取り残されたようになってしまう若者がいます。そういったあてもない日々をやりきれなくて当教室へたどり着くこともあります。

どのような理由であれ、KIBOU で出会う子やその家族には、日本での生活を充実させられるよう就学や進学等の正しい情報提供と日本語学習の側面からのサポートを続けていきます。そして、サポートされる側から、サポートをしてあげられる人になって、自らの意思で将来を描けるようになってほしいと願っています。

2026年3月31日

川上貴美恵